

02900

2012年度開講科目

## 調査実習概要報告書

1/1

2013年4月9日

科目担当者氏名		科目担当者連絡先 (メールアドレス)	
(ふりがな) たていし ゆうじ 立石 裕二			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
(ふりがな) ちの けん 中野 健人		関西学院大学 社会学部	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習 I	KSGa-120705-0	19人	

## I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

受講学生たちが調査のテーマ設定から、質問項目の作成、アポ取り、インタビューの実施、記録の作成、報告書の執筆にいたるまで社会調査の一通りの過程を体験的に学習できるよう授業を運営した。班ごとにサブテーマを設定し、最初から最後まで責任をとる形で進めた結果、積極的に取り組む姿勢を引き出すことができたと思う。

## II. 調査の企画・設計 (デザイン)

## 1. 調査のテーマ/領域：

環境問題という大まかな領域を設定した上で、学生どうして話し合わせた結果、「温泉と環境」というテーマに決まり、温泉をめぐる環境問題について多角的に調査をおこなった。

## 2. 調査の内容/概要：

温泉旅館でしか得られない固有性は、温泉という「自然」を体験することに他ならない。その意味で温泉は、環境の豊かさを観光資源とする「エコツーリズム」の先駆的な例といえるが、観光資源として注目を集め、多くの観光客が訪れるにつれて、元となった「自然」は破壊されていく、あるいは陳腐化していく危険性がある。本調査ではさまざまな人為と複雑に絡み合った形の「自然」の成立と、それを維持し、持続的に利用しようとする諸アクターの創意工夫に注目して、できるだけ多角的に調査をおこなった。

## 3. 調査の範囲/対象 (量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：

温泉旅館だけでなく、温泉に関わるさまざまなアクターにインタビューをすることで、温泉と自然環境・地域環境の関係をできるだけ多角的に捉えることを狙いとした。内訳は、旅館・ホテル4件、関連企業 (ボーリング・地熱発電・鉄道・入浴剤) 計4件、研究所・学会3件、行政機関2件、市民団体1件となった。

## 4. 主な調査項目：

温泉と環境の関係を多角的に捉えるため、「温泉・入浴に関する学生の意識」「温泉のしくみと効果」「温泉利用の歴史と現状」「温泉利用と自然環境」「温泉と地下資源」というサブテーマを設定して調査をおこなった。

## III. データ収集の方法と結果

## 5. データ収集 (現地調査) の方法：

事前に書籍・インターネットなどで情報収集をした上で、アポイントメントをとって調査に伺い、各対象者に1時間程度のインタビューをおこなった (一部、Eメールによるインタビューを含む)。

## 6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2012年6月～7月、兵庫県を中心に実施した。調査員は受講学生19名。

## 7. 収集したデータの量と質への評価 (量的調査の場合は有効回収率及び回収率を必ず記入)：

受講学生が録音データをもとに、詳細なインタビュー記録を作成した。対象者にも確認をとっており、十分な学術的・社会的価値を有すると考える。

## IV. データ分析の方法と結果

## 8. データ分析/解釈の方法：

班ごとにインタビュー記録をもとにディスカッションし、調査で明らかになったことを図解して把握することを試みた。また、関連する文献を読み、インタビュー中の発言が出てきた文脈を適切に解釈できるよう努めた。その上で各自がテーマをしばらくこみ、レポートを執筆した。

## 9. 調査の成果 (調査から得られた主な知見など)：

関係者へのインタビューを通して以下のことが明らかになった。1) 温泉という自然現象よりも、自然を介した人と人の関係のほうが重視されていること (宿泊客・旅館側の意識)。2) 他方、観光資源としての差別化をはかるカギとして「自然」が使われていること (色・香りの心理的効果、蛍などの「自然」づくり)。3) キャパシティを超えて観光客が訪れることで、ゴミや排水などの問題が生じていること。4) 人間は温泉を観光資源として「飼いつくそう」とするが、実際には思い通りにならない側面があること (源泉自体の環境負荷、温泉の枯渇など)。

## 10. 報告書刊行の予定と概要：

2013年3月に受講学生のレポートを掲載した報告書を印刷・製本し、インタビュー対象者等に配布した。

<記入上の注意点> 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。

2. 最上部の\*印の箇所には数字を(\*/\*)には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3とご記入下さい。

3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけたら幸いです。

4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。